

特集

# 平成28年産米情勢



## 米情勢

関東農政局が9月30日に発表した9月15日現在における平成28年産水稻の作柄概況によると、平成28年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む）は6万1600haで、前年に比べて300ha減少しました。また、主食用作付見込面積は5万3900haで、飼料用米等の新規需要米への転換等により、前年産に比べて1300haの減少が見込まれます。

千葉県の10a当たり予想収量は552kgで、前年産に比べて13kgの増加が見込まれます。主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収量（主食用）は29万7500tで、前年産並みが見込まれています。

## 米検査

8月30日～10月7日にかけて支店倉庫で米検査を行いました。今年は台風の影響で刈り取りが遅れましたが、10月1日現在で集荷数量は5086俵となり、1等米の割合は、昨年の95%を上回る98%となりました。

検査員によると、「9月前半は早刈りや台風等で稲が倒れるといった未熟米が見られたものの昨年に比べて品質的に良くなった」とのことです。



▲米の積み下ろしをする職員



▲米を確認する検査員

## 水稻空中散布

7月27日・

28日、八千代市植物防疫協会によるラジコンヘリコプターでの水稻空中散布を行いました。全地区予定通り完了しました。



## 平成28年産米の買入価格について

本年度の米の価格については、例年通り全農の概算農協支払額を参考に価格は左記になります。

その他の品種につきましては、全農の概算農協支払額に準じて設定させていただきます。

## 平成28年産米買入価格

コシヒカリ1等米

**12,000円**

コシヒカリ2等米

**11,400円**